

〔様式 1〕

事務事業評価表

1～11までは、担当課による評価

記入年月日	15.3.10			
平成15年度	事業コード	21220	電話	042-769-8246
担当部課名	環境事業部	清掃施設	課	
事務事業名	南清掃工場建替整備推進事業			

1 総合計画における位置づけ

政策名	第1章	人と自然にやさしい地域社会をつくれます	事業開始年度
基本施策名	第2節	リサイクル型社会の構築	12年度
施策名	第2施策	廃棄物の適正処理の推進	

2 実施根拠及び関連法令等

廃棄物の処理及び清掃に関する法律

3 事務の区分

自治事務	4 経費の区分	5 事務事業の分類	6 受益者負担
	投資的経費	国庫補助事業	なし

7 事業概要

(1)事業の目的...何をどのように(どのような状態に)したいのか	(2)対象(誰、何)
老朽化した南清掃工場の建て替えにより、安全で安定的なごみ処理体制を確保するとともに、環境に配慮し、循環型社会に寄与する施設とする。	一般市民
	対象数 617,344人
(3)平成14年度事業の内容...市が実際に行った事業の内容	
<ul style="list-style-type: none"> 平成13年度に素案を公表し、説明会や市民意見を募集した結果から、「南清掃工場建替整備方針」を策定し、公表した。 今後、施設整備計画を策定する上で重要な要素となる建築基本計画を策定した。 生活環境影響調査の現況調査を平成13年度に引き続き実施し、報告書を作成した。 見積参考図書作成に向けたメーカーヒアリングを行った。 PF1導入の方針に基づく1次及び2次検討を行った結果、PF1としての事業化は難しいとの査定となった。 当初、着工予定を平成16年度としていたが、主要事業の査定により平成18年度着工となった。 	
(4)個別計画の概要	概要
計画名	
計画年次	年度～年度

8 評価指標...事業の目的達成度を計るための指標

	指標名	指標式	指標設定の意図	15,16年度は目標値 指標の推移(年度)				
成果指標	到達指標	年次÷10(指標期間)×100 12年度:1年次 21年度:10年次	清掃工場竣工(21年度予定)を到達目標とし、12年度から21年度までの10年間を指標期間とした。	12	13	14	15	16
				10	20	30	40	50
活動指標	準備事務指標	14年度:メカヒアリング1の実施 15年度:メカヒアリング2の実施 16年度:引き合いメカの選定、発注仕様書の提示	引き合いメカの選定、発注仕様書の提示までを暫定の到達目標と定め、各年度の成果を指標とする。			15	40	100

9 事業費等の年度別状況

〔金額単位:千円〕

		平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度
		決算	決算	決算	予算	予算(見込み)
事業費	決算(予算)額	4,824	27,114	61,974	175	1,000
	人員・時間数	12人・年	11人・年	12人・年	11人・年	12人・年
	人件費	100,680	92,290	100,680	92,290	100,680
	その他経費					
	合計	105,504	119,404	162,654	92,465	101,680
特定財源						
	対象数	606,891	611,318	617,344	622,855	626,994
	対象の単位あたり経費	0.2	0.2	0.3	0.1	0.2

10 個別評価

(1)達成度 評価 A ▼	A：達成している	チェック項目	・成果指標の達成度 <input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
	B：一部達成していない		・活動指標の達成度 <input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
	C：達成していない		・事業目標の達成度 <input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input checked="" type="checkbox"/> 低
		説明	年度当初の事業計画に変更はあるが、目標に向け作業を進めている。
(2)必要性 評価 A ▼	A：適応している	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・市民や社会のニーズにかなっている
	B：一部適応していない		<input checked="" type="checkbox"/> ・状況の変化(対象や内容)に対応している
	C：適応していない		<input type="checkbox"/> ・当初設定した事業目的が達成されていない
		説明	<input checked="" type="checkbox"/> ・国、県、民間、市民との役割分担から見て、市が事業を行う必要がある 一般廃棄物の処理は、市町村の事務とされている。また、安全で安定的な処理や環境への負荷の低減が求められている。
(3)有効性 評価 A ▼	A：有効である	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・上位の施策、計画目的達成のために有効である
	B：一部有効でない		<input type="checkbox"/> ・期待された成果が得られている
	C：有効ではない		
		説明	循環型社会構築のため、必要不可欠の施設である。
(4)効率性 評価 A ▼	A：優れている	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・予算や人員に見合った効果が得られている
	B：一部改善の余地がある		<input type="checkbox"/> ・他市と比べてコストや効率性が優れている
	C：改善の余地がある		<input type="checkbox"/> ・他の類似事例と比べてコストや効率性が優れている <input type="checkbox"/> ・同一対象者に対して同種のサービスが重複していない
		説明	整備に向けた経費として、最小限のものである。
(5)公平性 評価 A ▼	A：公平である	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・対象者と非対象者との不公平・不均衡は、妥当な範囲である
	B：一部公平でない		<input type="checkbox"/> ・受益者の費用負担は適正である
	C：公平でない		<input type="checkbox"/> ・対象者の設定は適切である(年齢や所得等を考慮している)
		説明	一般廃棄物の処理は、市町村の事務とされている。
成果向上の余地		事業費削減のために取り得る手段と削減額	
<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	説明：	手段	
		削減額	千円

11 総合評価

評価	AAA ▼	他自治体の類似事業との比較
		ガス化燃焼炉の実績が少ないため、引き続き、すでに導入している自治体等から、ガス化燃焼炉の稼働実績等を調査し、さらに事業費の精査に努めるとともに、運営方法の研究などを進める。
今後の進め方		
<input checked="" type="checkbox"/>	継続	総合評価に関する説明
<input type="checkbox"/>	見直し	2年繰り延べの査定結果を受け、きめ細かい情報収集に取り組むとともに、引き合いメカ選定に向けたさらに詳細なメカヒアリングを実施するための準備を進めている。
<input type="checkbox"/>	廃止	建替整備については、市民生活の基盤を支える事業であるとともに、環境保全に対する意識の高まりから市民の関心を集める事業であるため、今後とも、情報公開に努めつつ推進していくことが必要である。
<input type="checkbox"/>	完了・廃止済	

12 二次評価コメント

--